

次世代 ふちのベ ニュース

Vol.15

市民検討会で考えた複数の検討パターンについて、 優先順位を決め、今期市民検討会のまとめを行いました！

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」について、第14回を11月20日（土）に、第15回を12月12日（日）に開催しました。

第14回及び第15回市民検討会を開催しました！

第14回市民検討会では、事前に市民検討会委員が検討パターンに関して評価した結果を確認した（※）後に、検討パターンの優先順位付けをするため、3つのWG（まちづくり・公共施設・公園）に分かれ、グループワークを行いました。

今期最後となる第15回市民検討会では、今期市民検討会のまとめについて検討し、次期市民検討会委員へ伝えたいことを共有しました。

（第15回の内容の記事は裏面です。）

今後は、今期市民検討会でまとめた意見等を踏まえて、市で課題等を検証し、次期市民検討会では施設・公園・土地活用の具体的な検討を行う予定です。

※評価の視点の詳細は、次世代ふちのベニュース第14号をご参照ください。

これまでの検討を踏まえ、一定のまとめができて、次期の委員へつないでいけるね！



検討パターンを評価した結果の傾向はどうだったの？

全体的な傾向としては、「複合化しないパターンより、複合化するパターンの方が、評価が高い傾向」にありました。また、「複合化するパターンの中では、公園敷地を活用するパターンと、公園と隣接する図書館敷地を一体的に活用するパターンの評価が高い傾向」にありました。

グループワークでどんな意見が出たの？

「鹿沼公園中心パターンと図書館敷地中心パターンの折衷案」が最も優先順位が高く、次が「公園中心パターン」という方向性が出されました。

公園WG

①折衷案

- ・「公園中心パターン」に関する評価として、評価が集まっている項目は、「財源の確保」と考えた。
- ・「折衷案」を選ぶポイントとして、「財源の確保」以外に以下の3点が重要と考えた。
①誰でも利用しやすい②自然環境に配慮した機能への対応③空間、場所を意識させる機能への対応

公共施設WG

①折衷案 ②公園中心パターン

- ・各検討パターンのメリット、デメリットを具体的に考え、3つの検討パターンに絞り込まれた。そのうち、「図書館敷地中心パターン」は、サービスの継続といった点で課題があり、候補から除外した。
- ・「公園中心パターン」のメリットとして、①サービスの継続 ②財源の確保が挙げられた。
- ・公園への影響を抑えられる「折衷案」の方が、どちらかと言うと優先度が高い結果となった。

まちづくりWG

①折衷案 ②公園中心パターン

- ・なるべく既存の公園の機能を減少させないという考えの下、「折衷案」が最も優先度が高い結果となった。
- ・公園中心パターンについても、公園を減少させないという考えを持つのであれば、容認できるものと考えた。
- ・折衷案で、複合施設を現在の図書館敷地の中に設置するのか、現在の公園敷地の中に設置するのかまでは、まとまらなかった。

今期市民検討会のまとめについて検討しました！

これまで検討してきた内容を踏まえ、3つの班に分かれて今期市民検討会のまとめについて検討を行い、全体で確認しました。

○まとめ「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。」

<グループワークで出た主な意見>

- ・鹿沼公園と図書館敷地の一体案を推したい。
- ・これまで6つの検討パターンを検討した中で、まとまったということを引き継ぎたい。
- ・細かい検討（施設の配置等）が出来ていないので、次期市民検討委員に具体的な検討をお願いしたい。
- ・これまで検討してきた内容を引継ぎ、振り出しに戻らないようにしていただき、また、より良いものにするという想いをもって検討をお願いしたい。



次期市民検討会委員へ伝えたいことは？

細かく6つのグループに分かれ、次期市民検討会委員へ伝えたいことを自由に話し合いました。

定めた目標に向けて最速最短で進めてください。

次期検討会では1つ1つの事がきちんと説明できる内容づくりを目指してほしい。

淵野辺南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろっていることだと思うので、これらを毀損することなく利便性を高め、さらに、利用する人たちの想いを実現してほしい。

双方向性の議論がなされ、より良い案となるよう、心から願っています。

少子高齢化社会で、子どもと老人が利用しやすい場所・外国人が自然に受け入れられて、共生できる場所を考えてほしい。

地域住民の憩いの場、集いの場、サードプレイスとして考えられる場所となってほしい。

たくさんの想いや願いがある中で優先順位を考えながら、バランスと調和のとれた街づくりができるといいですね。

次世代にどういった淵野辺駅南口を届けたいのか？をいつも念頭に考えてほしい。

有識者協議会の先生方から講評をいただきました。

- ◆ 淵野辺は交流人口が多く、人を集めることができる公共施設があり、それらを中心としたまちづくりをすることができる。次期市民検討会では、そういった明るい要素を踏まえながら検討を進めて欲しい。
- ◆ 誰がその場所を使い、誰がそこで活動をしているのかと、主語を考えることが、今後の検討会の中心的な話題になると思われる。また、そのような考え方が今後引き継がれていくとよいのではないかと。
- ◆ これから、複合施設の中身をどうしていくのか、各施設をより活性化するには、どうしたらよいか、そのようなことを、次期市民検討会委員には考えて欲しい。また、そのために必要なことは、現市民検討会委員が長いこと検討してきた成果としての今回のまとめである。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は…

【公園について】 環境経済局 環境共生部 公園課（電話：042-769-8243）

【まちづくりについて】 都市建設局 まちづくり推進部 都市計画課（電話：042-769-8247）

【公共施設について】 教育局 生涯学習部 生涯学習課（電話：042-769-8287）

E-mail: jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

ぜひホームページもご覧ください★